

Contents

■なかしんの考え方	2
経営方針・経営理念	2
業績ハイライト	4
平成25年度の事業概況	4
主な経営指標の推移	5
中兵庫信用金庫と地域社会	6
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	8
トピックス	13
業務運営と管理体制	14
法令等の遵守態勢(コンプライアンス)	14
反社会的勢力に対する基本方針	14
利益相反管理方針の概要	14
個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)	15
金融商品の販売等に関する法律に対する取組み	15
リスク管理の基本方針と体制	16
金融ADR制度への対応	17
「振り込め詐欺救済法」に関するお問合せ窓口について	17
「インターネットバンキングに係る不正アクセス」に関する注意喚起について	17
■業務案内	18
預金業務	18
融資業務	19
各種サービス	20
各種手数料関係	21
資料編	23
財務諸表	24
経営諸比率	28
自己資本の充実の状況等について	29
預金・融資業務関係	38
有価証券関係	41
その他	43
総代会	44
組織	46
『なかしん』のあゆみ	47
店舗一覧	48
店舗配置図	49

まち まち 地域を想い、 地域に生きる。

ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、平成25年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、「なかしん」に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年度の日本経済を振り返りますと、年度前半は、円安・株高が進行し、輸出が持ち直すとともに消費者マインドが好転して個人消費が上向き、さらに緊急経済対策から公共事業も拡大するなど、景気回復の波が全国的な広がりを見せました。年度後半には、新興国経済の減速などにより輸出は伸び悩みましたが、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による個人消費や住宅投資が下支えとなり、景気は緩やかな回復を続けました。当金庫の営業エリアにおきましても、徐々に明るい兆しは見えてまいりましたが、長期にわたるデフレの影響や原材料費・燃料費の上昇により、業種や地域によりましては厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、おかげさまで当金庫は、預金残高で30億円の増加、貸出金残高で5億円の増加となり、収益面におきましても、当期純利益1,468百万円を計上することができ、安全性・健全性の指標である自己資本比率は22.84%となりました。これもひとえに、地域の皆さまからの温かいご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

平成26年度も地域金融機関として、きめ細かな営業活動を通じお客様との絆を深めるとともに地域との連携を図りながら、金融仲介機能の発揮をご満足していただける金融サービスの提供に全力で取組んでまいります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申しあげますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申しあげます。

平成26年7月



理事長
足立厚郎